

Q 43 vol. WINTER 2014

創る・育つ・観る ― ところ豊かな毎日。

人まち結ぶ、
北九州芸術劇場の
情報誌「Q」

◎発行：(公財)北九州市芸術文化振興財団
◎北九州芸術劇場
北九州市小倉北区室町1-1-11リバーウォーク北九州内
TEL.093-562-2655 FAX.093-562-2588
<http://www.kitakyushu-performingartscenter.or.jp>

北九州芸術劇場プロデュース

「彼の地」 kanochi

Kitakyushu Produce KANOCHI

北九州作品シリーズ第7弾、初の女流劇作家・演出家を迎えて。

「彼の地」出演者オーディション初日の夜、作・演出を手がける彼女のツイッターには、地元民にもことなく愛される屋台の豚骨ラーメンの写真がアップされていた。

「おでんだけ買って帰ろうと思ったんですが、あの独特なおいにとどうしても引き寄せられて。くさいのか美味しいのかどっちか分からないギリギリ、なのに旨いーというのが病みつきになって」と語るのは、劇団「KAKUTA」主宰の桑原裕子さん。その気さくな口調に思わずこちらが引き寄せられたが、07年にはKAKUTA作品「甘い丘」で岸田國士戯曲賞にノミネート。09年には同作の再演で第64回文化庁芸術祭・芸術祭新人賞を受賞。11年からはブロードウェイミュージカル「ヒーターパン」の潤色・作詞・演出を手がけるなど、年々注目度が加速している旬の人である。「犬なみに鼻がきくんです」と言うが、実は大の猫好き。「耳も目もたいして良くないけど」と笑うが、目の前で繰り上げられる出来事をいくつかの階層から俯瞰で眺めているような不思議な眼をしている。彼女の瞳には、どんな北九州の街が映っているのだろうか。

「生まれてからほとんどを東京都町田市で暮らしてなんですが、北九州とちょっと似た雰囲気があって。町田の人間って、地元からあまり出ないんですよね。新宿まで40分くらいなんですが、たいいていのが地元で事足りるので『新宿なんて出るの、めんどめんど』という輩がいっぱいいるんですよ。内弁慶というか、地元愛はあるけどちょっと怖がりというか。中学生のたまり場とラブホテル街が同じ区画にあったりもするけど、住んでる人たちはわりと無頓着に生きちゃってる。私の作風には、そんな煩雑なわが町のおいが出てくると思うんです。似てるとはいえ、私は純然たるヨソモノですから、重なるものとはみ出るものを見つめながら、北九州の街のにおいを出せば…」

北九州芸術劇場プロデュース作品シリーズが迎える初の女流劇作家・演出家である。そんな彼女とデビュー当時から縁のあるプロデューサー能祖将夫に対談してもらった。

〔2p.へ続く〕

所 みたない。たとえは北九州の場合、この町に住んでいる人、出て行く人、やって来る人、あるいはかつて居た人など、さまざまなパターンがあると思うんですが、そういう人たちが北九州の「地」との距離感をどういう風に捉えているのか、大小さまざまなドラマを通して書いていくことで、全体として眺めたときに北九州という地がにわかって、そんな存在としたカタチで何かが伝わるものをやりたい、と思ったんです。

リードのヒロインは、北九州という土地を一つの星と捉えたときに、その星をぐるぐる回っている衛星のような存在として、寄る辺なく歩いている男の子が一人いたらいかな、という発想から、彼の地は「カレの地」とも読めますが、彼一人の物語というわけではなく、同じようにまたは違うカタチで想いを馳せているさまざまな主人公が出てくる同時多発的なエピソードが重なり合っていくと思います。

内面のゲル状のものと、澄んだ上すみの部分が、絡み合って見えてくる景色。

能祖 彼女の作品を観ていると、人間の内面にあるドロドロとしたゲル状のものと、その上すみの澄んだ部分の両方が作品に出ていて、そこが面白いんです。男性がやろうとすることや、理屈っぽくなりがちだけれど、彼女の場合はそこをすごく生理的に捉えている。そうすると、やはり女性的な視点があると、思うんです。

桑原 私は、お客さんにはわりと「優しい話を書く人」というイメージを持たれやすいんですが、自分のなかでは表面的に優しく見せているだけで、逆に裏側はずいぶん冷めているんです。たとえば、11年間眠ったままの女性が目覚めて、まだ眠っていいという話を書いたことがあるんですが、「目覚めるとか知れませんが」と言いつつ「でも目覚めなければ、もう」みたいな冷ややかなことを内心思っている、だから能祖さんがそういう「層」の部分を見てくたさっているの、ほんと嬉しいですね。そういう冷えてきているところを生暖かく見せてしまつたのだから、かもしきれませんね。

能祖 今回、北九州作品のシリーズ7作目にし、初の女流劇作家、演出家を迎えたわけだけれど、そういう視座も楽しみなところですね。もちろん演劇は基本的にはその人間を通して出てくるものだから、性別が影響するの、かたうちは分らない。たいてい、文学でも、そういう風に、男性作家と女性作家では若干違いがあると思うんです。たとえば、女性の書く小説や時には、ひらがなの持つ優しさや、エロティックな感じが絡まったときの、何とも言えない芳香がありますよね。だから、彼女の持つ内面のゲル状な感じと、それが昇華して生まれる澄んだ部分の両方が絡み合ったような香りが楽しみで、それは、彼女が意図しつゝがしまいが立ち上って、いくつうとを感じています。

桑原 もともとKAKUTAでは、男性の金井さんが書いていて、彼はすごく女性的な話を書くのが上手い人だったので、私が書くようになったときにはその反作用というか、女性的と言われることに違和感があったんです。でも、私が一人の女性であるゆえに勝手に夢んでしまつた部分があるならば、それをもた好きように拘って観てもいいかなと思います。

あ、シリーズ7作目で初の女性、ということなんですが、女性にとっては1カ月半、生活環境が変わるという条件が不安というか、踏ん切りが必要なんだと思いますよ。私も猫と1カ月半離れて生活することについては本気で迷いましたから(笑)。女の人って「すべてを捨てて新しい生活を始めるよー」と切り替えたときには俄然なきつてくるものがあるんです。でも、私の地元には家があって猫もいて、そこでは何かが常に動いている。そういう世界に想いを残しながら、別の場所、1カ月半も住む、というのはまた別で、すべてのものを切り捨てられる大胆さと相反するものがあるんすよね。

能祖 猫がネックになっているのは知ってたけど(笑)。そ、か、女性というのは想いが深いんだね。そんな深くも深い、30代の女流劇作家が想いを馳せる彼の地の物語はまた、特別な気がします。そして期待したい。

北九州芸術劇場プロデュース公演、2008年から始まった今シリーズの特徴とは…

- ①北九州を感じさせる内容
 - ②第一線の演出家が1ヶ月以上、北九州に滞在して創作
 - ③出演者は北九州、福岡をはじめ、地元の人材中心にオーディションで選抜
 - ④スタッフは劇場や地域のメンバー中心の布陣
 - ⑤東京公演を実施し中央へも発信
- という5つの柱のもとに創作

これまでに鐘下辰男(「青春の門 放浪篇」)、東恵司(「風街」)、松井周(「ハコブネ」)、松村武(「BEN」作・鈴木聡)、柴幸男(「トラボット」)、藤田真大(「LAND→SCAPE /街を眺望→街を展望」)の6作を企画・製作。オジナリティと質の高い舞台を生み出し、地元の演劇人と観客がともに演劇の醍醐味を体験できる得難い機会となっている。

----- 応援コメント -----



松村 武
劇作家、演出家、カムカムミニキーナ主宰

バラが主宰するKAKUTAはとても素敵な集団で、その素敵さがいつも作品の底に深層水みたいに溜まっていって、何か噴ましい。彼女が演出する劇団外の芝居でも同じく、その座組がとても素敵に思えて、何か眩しい。チームワークとあってしまつと、ちょっと違う。それよりもっと上の層での結びつき。信頼というのか、もはや愛などと言ってしまおうか。とにかくバラは素敵なチームを作る名人だが、さて、そのこと以上に演出家にとって大事なことが他にあるだろうか。きっと北九州でも彼女が中心になって、とても素敵な結びが形成され、忘れがたい思い出と消えがたい縁を舞台の上の人達にも、舞台を見る人達にも、残してくれることでしょう。それにしても、これからあの小倉でひと月、劇浸りの日々が待っているのかと思うと、かつてそれを満喫した者からして、それが何より羨ましいぜ!

----- 応援コメント -----



東 恵司
劇作家、演出家、劇団桃歌重子代表

photo:浅倉典典

桑原さんの事を知ったのは15年ぐらい前だと思う。KAKUTAの公演を観に行ったのが最初である。僕はその当時自分の劇団を旗揚げしたばかりで、KAKUTAのきらびやかな集団性と真摯な個性を羨ましく思った。桑原さんは脚本演出も然る事ながら、女優としても華がある。その時、桑原さんの名を脳裏に焼き付けた。それから何度かKAKUTAの公演を観て、僕の仕事/演出のジェットラグプロデュース公演「夢路」に出演して頂きたく彼女を推薦し、依頼した。桑原さんは至らない僕の脚本と演出を充分補い、素敵に輝いてくれた…感謝している。桑原さんは男勝りの強引なバイタリティーと、少女のはにかみか同居する不思議な女性である。きっと僕の故郷・福岡でその力を思う存分発揮し、カンパニーを牽引してくれる苦だと信じている。新しい風を吹かせてくれるに違いない。

北九州芸術劇場プロデュース

「彼の地」

kanochi

プロデューサー

能祖 将夫

作・演出

桑原 裕子

心の中に存在していて、
遠く想いを馳せる場所へ。

第一線で活躍する演劇人が北九州に約1カ月半滞在し、
地元の俳優やスタッフと創る北九州芸術劇場プロデュースシリーズ。
第7弾を迎える今回は、劇団「KAKUTA」主宰の桑原裕子が挑戦する。
果たして、彼女のまぶたに映る「彼の地」とは…?

文:重岡 美千代 撮影:吉井秀喜(RAD STUFF)

Yuko Kuwabara

桑原 裕子 ●くわばら ゆうこ

KAKUTA主宰。作・演出を兼ね、俳優としては結成以後ほぼ全作品に出演。若手俳優の登竜門「ラフカット」では出演と制作を手がけ、教育テレビ「中学生日記」「時々迷々」NHKラジオシアターなどを執筆。近藤秀正プロデュース「パンダコンチャ」の演出。進学先生「あつぎいん兄弟」、映画「ラブリングハート」の脚本を担当。女優としても長塚喜史演出「冒した者」に出演するなど、多方面で活躍の場を拓けている。07年KAKUTA作品「甘い丘」で岸田國士戯曲賞に初ノミネート、同作の再演で09年に第64回文化庁芸術祭・芸術祭新人賞(脚本・演出)を受賞。11年、世田谷パブリックシアター主催「往状」の脚本が鶴屋南北戯曲賞・岸田國士賞の候補となる。10～13年ブロードウェイミュージカル「ピーターパン」の潤色・作詞・演出を務めた。

Masao Nouse

能祖 将夫 ●のう そ ま さ お

北九州芸術劇場プロデューサーとして主に地域に根ざした舞台作品を企画。また、当劇場の「合巻物語わたしの青い鳥」を始め全国の市民参加作品やプロ作品の音楽劇や歌曲の作詞、台本も手掛ける。「ジャズえほん」等、音楽家と組んだステージでは朗読家として全国で公演を行っている。詩集に「暮しの日」(書肆山田)。この中の「たつたひとつの」に木下敬子氏が曲をつき、「歌おうNIPPONプロジェクト」http://editionkawai.jp/utaou/で発表している。桜美林大学准教授。

Interview

高校三年の夏休み、二つの選択が今の自分につながって。

能祖 彼女との出逢いは、もう20年くらい前になりますが、なかなかドラマチックでした。ね、青山田形劇場で平田オリザさんが作演出、僕がプロデュースした「配転生」という舞台のオーディション兼ワークショップに、当時高校生だった彼女が参加していた。

桑原 今でも覚えてます。高校三年の夏休みでした。ちょうど高校の演劇部を引退した時期で、まだまだやりたい気持ちの時にそのオーディションがあったんです。300人以上の応募者が最終的に21人まで絞られたのですが、一週間くらい毎日その場で合格者が貼り出されて、名前のある人だけが課題に進めるという、過酷な日々でした。

能祖 彼女はその21人に残って、そのうちの一人、田村友佳と劇団KAKUTAを結成したんだよね。

桑原 そうです。金井博美さんと3人で、頭文字をとってKAKUTA。実は演劇部を引退する時に、二つの場所に連絡したんです。一つが能祖さんとの出会いとなった「配転生」のオーディション。もう一つは地元劇団の見学だったんですが、それがKAKUTAの前身なんですよ。あの時連絡した二つが今の自分につながっていると思うと不思議な気がします。

大小さまざまなエピソードを通して、「北九州」の香りが立ち上る。

能祖 今回、彼女から「彼の地」というタイトルと短いリードの文章が出てきたときに、いいなと思ったんです。そこには「ナカヤマケン」という女装をした男の子が出てくるんですが、面白そうだな。

桑原 「彼の地」という言葉には、憧れの場所とか記憶の中の故郷とか、ちょっと遠い場所に想いを馳せるときに使うようなイメージがあって、実在する場所というよりも心の中に存在していて、遠く想いを馳せる場

STAGE PREVIEW

北九州芸術劇場プロデュース「彼の地」

主 催 P

【北九州公演】北九州芸術劇場 小劇場

2/18	2/19	2/20	2/21	2/22	2/23
13:00					
14:00					
18:00					

【東京公演】あうすぽと(豊島区立舞台芸術交流センター)

3/7	3/8	3/9
14:00		
18:00		

○作・演出 桑原裕子(KAKUTA)
○出演 岩本将治、大神拓哉(金澤演劇集団クラムロウ)、尾崎宇内、佐藤恵美香、椎木樹人(のろろグループ)、高山力造(village90%)、多田香織(のろろグループ)、上瀬征宏、奥村泰彦、尾方宣久、金替博、土田英生(ニッポンの河川)、土田英生/森谷ふみ(ニッポンの河川)、古藤望(マゴリ)、高橋明日香(kitt)、松永浩、若狭勝也(KAKUTA)、佐賀野雅和(KAKUTA)、奥機田夏実(KAKUTA)
●一般¥3000、学生(小・大・学生・要学生証提示)¥2500 ※日時指定・全席自由

◎好評発売中 2/8出「語りの広場」(桑原さんとのトーク)を予定。
詳細は劇場HPをご覧ください。

STAGE PREVIEW

MONO 第41回公演「のぞき穴、哀愁」

提 携 P

代表の土田英生が描く、劇団MONOでやってこそその可笑しみや人間味が溢れるコミカルでテンポのよい会話劇の新作は、のぞき穴を仕事にする人々を描く、哀愁漂う密室劇。客席からの、のぞいてください、私たちを。

小劇場 3/1 3/2

14:00		
18:00		

★終演後トークイベントあり

○作・演出 土田英生
○出演 水沼健、奥村泰彦、尾方宣久、金替博、土田英生/森谷ふみ(ニッポンの河川)、古藤望(マゴリ)、高橋明日香(kitt)、松永浩
●一般¥3500、学生(要学生証提示)¥3000 ※当日各¥300増

◎一般発売 12/22日

STAGE PREVIEW

山海塾 「かがみの隠喩の彼方へーかげみ」

主 催 P

舞台一面にゆらめく蓮の葉。仮想の水面、水鏡に交差する光と影。そのはるか下で呼吸する生命たち。世界40カ国以上で活躍する、日本を代表する舞踏カンパニー・山海塾による、透徹した美のステージにご期待ください。

中劇場 2/16

14:00	
18:00	

★天児牛大によるポスト・パフォーマンスあり
【ゲスト】石井達朗(舞踊評論家)

○演出・振付・デザイン 天児牛大
○音楽 加古隆、吉川洋一
○舞踏手 天児牛大、舞丸、竹内晶、市原昭仁、長谷川一朗、松岡大、石井剛仁
●一般¥4500
ユース(24歳以下・要身分証提示)¥2500

◎好評発売中

STAGE PREVIEW

南河内万歳一座 「満月〜みんなの歌シリーズより〜」

提 携 P

パワフルに溢れる圧倒的な存在感とダイナミックな舞台が魅力の劇団に、ニューヨークで英語朗曲披露が決定した話題の浪曲師・春野恵子がゲスト出演。電車内を舞台に、現代人の暗闇を描いたシリアスなテーマをコミカルな台詞の掛け合いで描きます。

小劇場 2/1 2/2

14:00		
18:00		

○作・演出 内藤裕敬
○出演 鴨鈴女、藤田辰也、荒谷清水、三浦隆志、春野恵子(浪曲師)ほか
●一般¥3000、学生・シニア(65歳以上)¥2800
青春18歳差切符¥5500(前座18歳以上のペア割引・劇団のみ取扱)
※日時指定・全席自由

◎好評発売中

STAGE PREVIEW

ツドEmeets北九州vol.10 劇団子供巨人「HELLO HELL!!!」

主 催 P

関西で大人気の劇団がついに九州初上陸!30人もの出演者が楽隊の生演奏と共に所狭しと歌い踊る、地獄の亡者たちのミュージカル。舞台上に溢れる熱気とうごめエネルギー!色鮮やかでパワフル、そしてド派手な亡者たちの狂騒をお見逃しなく!!

小劇場 1/18 1/19

13:00		
18:00		

○作・演出 益山貴司
○出演 益山寛司、キキ花香、影山徹、徳なつき、ミネユキ、BAB、小中太、益山貴司ほか
●一般¥3000、学生¥2000、高校生以下¥1000
※学生・高校生以下は前売のみ取扱
※日時指定・全席自由・整理番号付

★終演後、音楽隊によるスペシャルライブ決定!

◎好評発売中

STAGE PREVIEW

ダンボール人形劇場 「お花のハナツク物語」

主 催 P

小さな「お花のハナツク」を主人公に、ダンボールで造られた様々な動物たちが登場し、舞台の上で大活躍する、希望と感動がいっぱい詰まった人形劇俳優「たいらじょう」の心あたたまるオリジナルストーリー。子どもも大人も夢中になれる新感覚の人形劇をお楽しみください。

小劇場 1/12

14:00	
-------	--

○作・演出・美術・人形操演 平常(たいらじょう)
●大人¥2500、子ども(3歳以上中学生以下)¥1000、親子¥3000
※全席自由・一部観覧無料
※2歳以下観覧無料
※上演時間約90分

◎残席わずか

04

人まち結ぶ、北九州芸術劇場の情報誌「Q」

06

INFORMATION

お知らせ 北九州芸術劇場・響ホール・財団音楽事業課は
2013.12.29～2014.1.3までお休みとなります。

お問合せ▶ 財団音楽事業課：TEL.093-663-6661 (9:00～18:00/土日祝休) 響ホール：TEL.093-662-4010

お問合せ▶ 北九州芸術劇場：TEL.093-562-2655 (10:00～20:00)

財団音楽事業課主催公演チケット取扱		
	TEL.093-662-4010	9:00～18:00
	北九州市八幡東区平野 1-1-1 国際文化交流センター	9:00～18:00
	北九州市小倉北区室町 1-1-1 11 リバーウォーク北九州5F	10:00～19:00
その他プレイガイド	●チケットぴあ TEL.0570-02-9111 ●ローソンチケット TEL.0570-000-777	

北九州芸術劇場主催公演チケット取扱		
		検索サイト http://yvk.1ka-ruku.com/kicpac-mv/
	北九州市小倉北区室町 1-1-1 11 リバーウォーク北九州5F	10:00～19:00
その他プレイガイド	●チケットぴあ TEL.0570-02-9111 ●ローソンチケット TEL.0570-000-777	

ひびき音楽友の会 【お問合せ】 TEL.093-662-4010 (9:00～18:00)

【入会金】¥500 【年会費】¥1000 【有効期限】入会年度の3月31日まで

- 【特 典】●チケットの割引(1割引)購入ができます!
*対象コンサートのチケットを1コンサートにつき2枚まで
●チケットの先行予約購入ができます!
●コンサート情報などの無料送付!
*対象コンサートの案内をはじめ、年4回発行の情報誌「Q」など各種情報を無料でお届けします

【会員特典対象コンサートとは】
●財団音楽事業課主催のコンサートで指定するもの
●北九州国際音楽祭の有料コンサートで指定するもの(ただし、先行予約購入の特典は適用不可)

財団音楽事業課主催 チケットの先行予約・割引購入の方法

- お電話でのご予約
①希望公演の先行予約日を確認のうえ、財団音楽事業課へ電話をかける
②会員番号・名前・電話番号・公演名・公演日時・席種・枚数をスタッフに伝える
③チケットの引取り方(窓口or郵送)を選ぶ
*ご予約後の変更・キャンセルはできません

窓口で

- 以下の窓口で代金と引き換えに引取
①響ホール管理事務室(9:00～18:00) 国際文化交流センター内
②北九州芸術劇場プレイガイド(10:00～19:00) リバーウォーク北九州5F

郵送で

郵便局にて代金入金後、チケットを郵送
*払込手数料、郵送料はお客様負担となります

〈財団音楽事業課〉
TEL.093-663-6661 9:00～18:00
*発売初日は10:00～18:00/土日祝休

●窓口で直接ご購入

上記①②のいずれかの窓口で直接お求めください

北九州国際音楽祭の対象コンサートの購入方法等については、
同事務局(TEL.093-663-6567/9:00～17:00/土日祝休)へ直接お問合せください。

北九州芸術劇場チケットクラブ 【お問合せ】 TEL.093-562-8435 (10:00～18:00)

【入会特典】

- チケットの先行予約購入ができます!
先行予約方法は電話先行とインターネット先行の2種類!
*北九州芸術劇場が指定する主催・提携公演のみご予約できます
*先行販売枚数には限りがあり、ご予約いただけない場合があります
*すべて良いお席とは限りませんので予めご了承ください
*ご予約後の変更・キャンセルはできません
- 情報誌「Q」を年4回お届けします
*北九州芸術劇場と響ホールの情報誌「Q」を年4回(3月、6月、9月、12月下旬)にお届けします
- 協賛店での割引サービスを受けられます
*チケットクラブのカードをご提示いただく、
チケットクラブ協賛店でお得なサービスが受けられます

●積立ポイントでチケットを割引購入できます

- *購入金額の5%相当のポイントがつかます
*1ポイント1円とし、100ポイント単位で次回購入より使えます
*北九州芸術劇場が指定する公演が対象となります
*1公演につきチケット4枚分までポイントがつかます
- 【会 費】¥500 入会金なし
【有効期限】入会日から2年後の同月末日まで
【入会方法】
■窓 口……北九州芸術劇場プレイガイド(10:00～19:00)
[北九州市小倉北区室町1-1-1 11 リバーウォーク北九州 5F]
■電 話……TEL.093-562-8435 (10:00～18:00)

対 象 公 演		先行予約日
先行予約対象公演	美輪明宏版 愛の賛歌 ～エディット・ピアフ物語～	2/22(土)

先行予約方法

一般発売前の各【先行予約日(10:00～17:00)】に電話・WEB・携帯サイトからお申込みください
WEB・携帯サイトは初回予約・購入の際に利用登録が必要となります。利用登録は先行予約前までにお済ませください

電話予約

WEB予約

携帯サイト

TEL.0570-099-990
*オペレーターのガイダンスにしたがってご予約ください

http://yvk.1ka-ruku.com/kicpac-mv/

STAGE PREVIEW について

*特に表記のない場合は、[全席指定][未就学児入場不可][当日¥500 増][劇場:開場は開演の30分前]
[響:開場は開演の1時間前]です。*公演日程・内容・時間・料金など変更になる場合がございます。*託児あり/有料・要予約(フリーダイヤル0120-400-829/TEL.093-882-5063、9:00～19:00 受付)
*購入されたチケットの取替・変更・キャンセルはできませんのでご了承ください。*車椅子でのご来場をご希望の方は事前にお問合せください。

STAGE PREVIEW

2014響シリーズ 第1弾
第82回日本音楽コンクール受賞記念演奏会 in 北九州

日本で最も伝統あるコンクールのひとつであり、多くの優れた音楽家を輩出してきた「日本音楽コンクール」。今回はピアノ部門、ヴァイオリン部門、フルート部門、声楽部門の優勝者たちが響ホールに登場します。見事に花開いた若い才能、瑞々しく躍動感溢れる演奏をお楽しみください。

石井楓子 大江 馨 松木さや 竹多倫子

毎日新聞提供

○一般 ¥2000
U-25 ¥1000
*全席自由
*U-25…1988年以降生まれ
全て対象、要証明

2014響シリーズ 第2弾
ストリング・クワルテット ARCO

1996年結成以来、妥協のない音楽づくりとエネルギーあふれる演奏を持ち味に活動を重ねるストリング・クワルテットARCOが13年ぶりに響ホールに登場! 各地オーケストラの首席奏者を務める精鋭たちが奏でる《弦楽四重奏曲の真髄》にご期待ください。

伊藤寛太郎 双紙正哉 柳瀬省太 古川展生

○伊藤寛太郎(第1ヴァイオリン)
双紙正哉(第2ヴァイオリン)
柳瀬省太(ヴィオラ)
古川展生(チェロ)

●指定席 ¥4000
一般自由席 ¥3500
U-25自由席 ¥2000
ペア(自由席)(前売のみ) ¥6000
※U-25…1988年以降生まれ
全て対象、要証明

Q program
CALENDAR
1 2 3

北九州芸術劇場
KITAKYUSHU PERFORMING ARTS CENTER

1 JANUARY

4 小劇場
九州交響楽団
ニューイヤーコンサート2014
国 九響チケットサービス 092-823-0101

5 大ホール
北九州は元気にするバイ'14
国 NPO法人九州プロレス 092-400-9938

5 小劇場
活水同窓生による素敵な新春コンサート
国 活水同窓会北九州支部 093-653-3649(柳元) 093-372-0693(齊藤)

5 小劇場
北九州芸術劇場プロデュース
「彼の地」
国 北九州市立思永中学校 093-541-0075

11 中劇場
北九州市民劇場1月例会
青年座「をんな善哉」
国 北九州市民劇場 093-541-0075

11 中劇場
北九州市民劇場1月例会
青年座「をんな善哉」
国 北九州市民劇場 093-541-0075

12 小劇場
ダンボール人形劇場
「お花のバナッパの物語」
国 北九州市民劇場 093-541-0075

12 小劇場
北九州芸術劇場プロデュース
「彼の地」
国 北九州市立思永中学校 093-541-0075

12 小劇場
北九州芸術劇場プロデュース
「彼の地」
国 北九州市立思永中学校 093-541-0075

12 小劇場
北九州芸術劇場プロデュース
「彼の地」
国 北九州市立思永中学校 093-541-0075

12 小劇場
北九州芸術劇場プロデュース
「彼の地」
国 北九州市立思永中学校 093-541-0075

12 小劇場
北九州芸術劇場プロデュース
「彼の地」
国 北九州市立思永中学校 093-541-0075

12 小劇場
北九州芸術劇場プロデュース
「彼の地」
国 北九州市立思永中学校 093-541-0075

12 小劇場
北九州芸術劇場プロデュース
「彼の地」
国 北九州市立思永中学校 093-541-0075

12 小劇場
北九州芸術劇場プロデュース
「彼の地」
国 北九州市立思永中学校 093-541-0075

12 小劇場
北九州芸術劇場プロデュース
「彼の地」
国 北九州市立思永中学校 093-541-0075

12 小劇場
北九州芸術劇場プロデュース
「彼の地」
国 北九州市立思永中学校 093-541-0075

12 小劇場
北九州芸術劇場プロデュース
「彼の地」
国 北九州市立思永中学校 093-541-0075

12 小劇場
北九州芸術劇場プロデュース
「彼の地」
国 北九州市立思永中学校 093-541-0075

12 小劇場
北九州芸術劇場プロデュース
「彼の地」
国 北九州市立思永中学校 093-541-0075

12 小劇場
北九州芸術劇場プロデュース
「彼の地」
国 北九州市立思永中学校 093-541-0075

12 小劇場
北九州芸術劇場プロデュース
「彼の地」
国 北九州市立思永中学校 093-541-0075

12 小劇場
北九州芸術劇場プロデュース
「彼の地」
国 北九州市立思永中学校 093-541-0075

2 FEBRUARY

12 小劇場
南河内万蔵一座
「満月 ～みんなの歌シリーズより～」
国 南河内万蔵一座 0120-7878-07

12 小劇場
南河内万蔵一座
「満月 ～みんなの歌シリーズより～」
国 南河内万蔵一座 0120-7878-07

12 小劇場
南河内万蔵一座
「満月 ～みんなの歌シリーズより～」
国 南河内万蔵一座 0120-7878-07

12 小劇場
南河内万蔵一座
「満月 ～みんなの歌シリーズより～」
国 南河内万蔵一座 0120-7878-07

12 小劇場
南河内万蔵一座
「満月 ～みんなの歌シリーズより～」
国 南河内万蔵一座 0120-7878-07

12 小劇場
南河内万蔵一座
「満月 ～みんなの歌シリーズより～」
国 南河内万蔵一座 0120-7878-07

12 小劇場
南河内万蔵一座
「満月 ～みんなの歌シリーズより～」
国 南河内万蔵一座 0120-7878-07

12 小劇場
南河内万蔵一座
「満月 ～みんなの歌シリーズより～」
国 南河内万蔵一座 0120-7878-07

12 小劇場
南河内万蔵一座
「満月 ～みんなの歌シリーズより～」
国 南河内万蔵一座 0120-7878-07

12 小劇場
南河内万蔵一座
「満月 ～みんなの歌シリーズより～」
国 南河内万蔵一座 0120-7878-07

12 小劇場
南河内万蔵一座
「満月 ～みんなの歌シリーズより～」
国 南河内万蔵一座 0120-7878-07

12 小劇場
南河内万蔵一座
「満月 ～みんなの歌シリーズより～」
国 南河内万蔵一座 0120-7878-07

12 小劇場
南河内万蔵一座
「満月 ～みんなの歌シリーズより～」
国 南河内万蔵一座 0120-7878-07

12 小劇場
南河内万蔵一座
「満月 ～みんなの歌シリーズより～」
国 南河内万蔵一座 0120-7878-07

12 小劇場
南河内万蔵一座
「満月 ～みんなの歌シリーズより～」
国 南河内万蔵一座 0120-7878-07

12 小劇場
南河内万蔵一座
「満月 ～みんなの歌シリーズより～」
国 南河内万蔵一座 0120-7878-07

12 小劇場
南河内万蔵一座
「満月 ～みんなの歌シリーズより～」
国 南河内万蔵一座 0120-7878-07

12 小劇場
南河内万蔵一座
「満月 ～みんなの歌シリーズより～」
国 南河内万蔵一座 0120-7878-07

12 小劇場
南河内万蔵一座
「満月 ～みんなの歌シリーズより～」
国 南河内万蔵一座 0120-7878-07

12 小劇場
南河内万蔵一座
「満月 ～みんなの歌シリーズより～」
国 南河内万蔵一座 0120-7878-07

12 小劇場
南河内万蔵一座
「満月 ～みんなの歌シリーズより～」
国 南河内万蔵一座 0120-7878-07

12 小劇場
南河内万蔵一座
「満月 ～みんなの歌シリーズより～」
国 南河内万蔵一座 0120-7878-07

12 小劇場
南河内万蔵一座
「満月 ～みんなの歌シリーズより～」
国 南河内万蔵一座 0120-7878-07

12 小劇場
南河内万蔵一座
「満月 ～みんなの歌シリーズより～」
国 南河内万蔵一座 0120-7878-07

12 小劇場
南河内万蔵一座
「満月 ～みんなの歌シリーズより～」
国 南河内万蔵一座 0120-7878-07

12 小劇場
南河内万蔵一座
「満月 ～みんなの歌シリーズより～」
国 南河内万蔵一座 0120-7878-07

12 小劇場
南河内万蔵一座
「満月 ～みんなの歌シリーズより～」
国 南河内万蔵一座 0120-7878-07

12 小劇場
南河内万蔵一座
「満月 ～みんなの歌シリーズより～」
国 南河内万蔵一座 0120-7878-07

12 小劇場
南河内万蔵一座
「満月 ～みんなの歌シリーズより～」
国 南河内万蔵一座 0120-7878-07

12 小劇場
南河内万蔵一座
「満月 ～みんなの歌シリーズより～」
国 南河内万蔵一座 0120-7878-07

12 小劇場
南河内万蔵一座
「満月 ～みんなの歌シリーズより～」
国 南河内万蔵一座 0120-7878-07

3 MARCH

12 小劇場
MONO
第41回公演「のぞき穴、哀愁」
国 MONO 0120-7878-07

12 小劇場
MONO
第41回公演「のぞき穴、哀愁」
国 MONO 0120-7878-07

12 小劇場
MONO
第41回公演「のぞき穴、哀愁」
国 MONO 0120-7878-07

12 小劇場
MONO
第41回公演「のぞき穴、哀愁」
国 MONO 0120-7878-07

12 小劇場
MONO
第41回公演「のぞき穴、哀愁」
国 MONO 0120-7878-07

12 小劇場
MONO
第41回公演「のぞき穴、哀愁」
国 MONO 0120-7878-07

12 小劇場
MONO
第41回公演「のぞき穴、哀愁」
国 MONO 0120-7878-07

12 小劇場
MONO
第41回公演「のぞき穴、哀愁」
国 MONO 0120-7878-07

12 小劇場
MONO
第41回公演「のぞき穴、哀愁」
国 MONO 0120-7878-07

12 小劇場
MONO
第41回公演「のぞき穴、哀愁」
国 MONO 0120-7878-07

12 小劇場
MONO
第41回公演「のぞき穴、哀愁」
国 MONO 0120-7878-07

12 小劇場
MONO
第41回公演「のぞき穴、哀愁」
国 MONO 0120-7878-07

12 小劇場
MONO
第41回公演「のぞき穴、哀愁」
国 MONO 0120-7878-07

12 小劇場
MONO
第41回公演「のぞき穴、哀愁」
国 MONO 0120-7878-07

12 小劇場
MONO
第41回公演「のぞき穴、哀愁」
国 MONO 0120-7878-07

12 小劇場
MONO
第41回公演「のぞき穴、哀愁」
国 MONO 0120-7878-07

12 小劇場
MONO
第41回公演「のぞき穴、哀愁」
国 MONO 0120-7878-07

12 小劇場
MONO
第41回公演「のぞき穴、哀愁」
国 MONO 0120-7878-07

12 小劇場
MONO
第41回公演「のぞき穴、哀愁」
国 MONO 0120-7878-07

12 小劇場
MONO
第41回公演「のぞき穴、哀愁」
国 MONO 0120-7878-07

12 小劇場
MONO
第41回公演「のぞき穴、哀愁」
国 MONO 0120-7878-07

12 小劇場
MONO
第41回公演「のぞき穴、哀愁」
国 MONO 0120-7878-07

12 小劇場
MONO
第41回公演「のぞき穴、哀愁」
国 MONO 0120-7878-07

12 小劇場
MONO
第41回公演「のぞき穴、哀愁」
国 MONO 0120-7878-07

12 小劇場
MONO
第41回公演「のぞき穴、哀愁」
国 MONO 0120-7878-07

12 小劇場
MONO
第41回公演「のぞき穴、哀愁」
国 MONO 0120-7878-07

12 小劇場
MONO
第41回公演「のぞき穴、哀愁」
国 MONO 0120-7878-07

12 小劇場
MONO
第41回公演「のぞき穴、哀愁」
国 MONO 0120-7878-07

12 小劇場
MONO
第41回公演「のぞき穴、哀愁」
国 MONO 0120-7878-07

12 小劇場
MONO
第41回公演「のぞき穴、哀愁」
国 MONO 0120-7878-07

12 小劇場
MONO
第41回公演「のぞき穴、哀愁」
国 MONO 0120-7878-07

響ホール
HIBIKI HALL

1 JANUARY

5 小劇場
第67回全日本学生音楽コンクール
北九州大会受賞記念演奏会
国 毎日新聞西日本本社事業部 093-511-1119(福田)

5 小劇場
第67回全日本学生音楽コンクール
北九州大会受賞記念演奏会
国 毎日新聞西日本本社事業部 093-511-1119(福田)

5 小劇場
第67回全日本学生音楽コンクール
北九州大会受賞記念演奏会
国 毎日新聞西日本本社事業部 093-511-1119(福田)

5 小劇場
第67回全日本学生音楽コンクール
北九州大会受賞記念演奏会
国 毎日新聞西日本本社事業部 093-511-1119(福田)

5 小劇場
第67回全日本学生音楽コンクール
北九州大会受賞記念演奏会
国 毎日新聞西日本本社事業部 093-511-1119(福田)

5 小劇場
第67回全日本学生音楽コンクール
北九州大会受賞記念演奏会
国 毎日新聞西日本本社事業部 093-511-1119(福田)

5 小劇場
第67回全日本学生音楽コンクール
北九州大会受賞記念演奏会
国 毎日新聞西日本本社事業部 093-511-1119(福田)

5 小劇場
第67回全日本学生音楽コンクール
北九州大会受賞記念演奏会
国 毎日新聞西日本本社事業部 093-511-1119(福田)

5 小劇場
第67回全日本学生音楽コンクール
北九州大会受賞記念演奏会
国 毎日新聞西日本本社事業部 093-511-1119(福田)

5 小劇場
第67回全日本学生音楽コンクール
北九州大会受賞記念演奏会
国 毎日新聞西日本本社事業部 093-511-1119(福田)

5 小劇場
第67回全日本学生音楽コンクール
北九州大会受賞記念演奏会
国 毎日新聞西日本本社事業部 093-511-1119(福田)

5 小劇場
第67回全日本学生音楽コンクール
北九州大会受賞記念演奏会
国 毎日新聞西日本本社事業部 093-511-1119(福田)

5 小劇場
第67回全日本学生音楽コンクール
北九州大会受賞記念演奏会
国 毎日新聞西日本本社事業部 093-511-1119(福田)

5 小劇場
第

(裏面から続く)

録音さえしないことも(笑)。その場で演奏して聴いてもらい、「このパートをこんなふうに弾いて」と打ち合わせる人が多いです。

守也 本番で即興を弾く時は、二人の距離が近いので、結構喋ってコンタクトを取ってるんですよ(笑)。いくつか決め事を作っておいて、あとは喋りながら。もちろん言葉だけでなく音でも掛け合います。

圭士 レ・フレールの楽曲の中心である「プギ・ウギ」は、どんな音楽が言葉で説明するより、ライブで実際に耳にして、「これがプギ・ウギなんだ」と体で感じてほしい。即興で演奏するものなので、その時のお客様と僕たちのコンディションとで出来上がっていく一期一会の演奏になります。

守也 ライヴでヒートアップしていく時は楽しいです。

圭士 もともとダンスミュージックで、踊るために弾かれていたのがプギ・ウギ・ピアノですから、お客様にも踊りたくなるような感覚を持ってもらえたら嬉しいんです。

お二人は子どもの音楽支援にも力を入れています。どんな思いから支援を？

圭士 結成当初は、幼稚園や小学校での演奏が多かったんです。興味のある子は目を

～響ホール開館20周年記念～

KIRIN presents

Best of Les Frères

ベスト オブレ・フレール in 北九州

インタビュー
&
メッセージLes Frères
Interview & Message

キラキラさせていて、お客様と演奏者が一体になるといふプギ・ウギの醍醐味を子どもたちと味わうことができました。そんな“幼稚園ライヴ”が僕たちの原点です。また、或る小学校の体育館でコンサート後、子どもたちが大事にしている下敷きや筆箱を持ってサインを貰うために並んでいるのを見た時、「絶対有名になろう!」と決意しました(笑)。子どもたちに自信と勇気を貰ったので、今も年齢制限は設けず、子どもたちにも聴いてもらいたいと思っています。僕自身のコンサート初体験は小学6年の時のベンチャーズ。初めてだったのでよく覚えています。そんなふうに、子どもの頃に体験した衝撃は将来まで続くと思うから、大事な時期にいいものを見せてあげたい。

守也 僕たちの演奏がいいイメージで子どもたちの心に残ってくれるといいと思います。

圭士 聴いた音楽は忘れていても、その時の雰囲気や家族で楽しんだ思い出とか。

守也 そういう体験が大人になって何かしらの原動力になったり、自分の仕事で生かせたり、そんなふうになってもらえれば…。

レ・フレールはパーゼンドルファー社のピアノを愛用していますが、その特徴は？

圭士 僕が師と仰ぐドイツのピアニスト、アクセル・ツヴィンゲンベルガー氏が

使っていたパーゼンドルファーを弾かせてもらってからの縁です。ほかのピアノとは音も違うけど、一番違うのは弾く時の感覚かな。

守也 それに、パーゼンドルファーは1台1台手作りというところが特徴です。

圭士 コンサートに使っている持ち運び用のピアノは知人から譲り受けたもの。80年代の製作なので僕たちの弟くらいの年かな。

守也 「ダニー」という愛称もマネージャーが付けて(笑)。ちなみに僕たちが弾いているのはインペリアルモデルで、通常より鍵盤数が多い世界最大級のピアノです。

圭士 横幅が広い分ボディが大きいので、PAを通していいのかと思うくらい重低音が出ます。高音部のキラキラした音もとても良いので、どちらも聴きどころですよ。

今回のツアータイトル「ベスト オブレ・フレール」にちなんで、お二人それぞれの“ベスト”の1曲を挙げてください。

守也 僕にとつてのベストはやっぱり、ライブで毎回やる即興演奏です。

圭士 僕は、レ・フレール結成当初から弾いている二人の合作「Ooh See Boogie (ウーシー・プギ)」が、思い入れの強い曲です。「ウーシー」は兄の飼っていた愛犬の名前。そのウーシーが交通事故に遭って兄が落ち

込んでいる時、手術代を稼ぐために始めたのがレ・フレール結成のきっかけでした。だからベストの1曲を問われると、原点に戻って、最初に二人で弾いたその曲かな。…今回のツアーには入っていませんが(笑)。

北九州では初公演ということで、当日を待ち望んでいるお客様にメッセージを。

守也 公演は初ですが、デビュー前に小倉井筒屋のイベントに出演した縁があるんですよ。屋外にクリスタルピアノを用意して。

圭士 僕はプライベートでよく北九州に行くので、初というのが不思議なくらい(笑)。**守也** 絶対いいライブにする自信があるの

で、存分に楽しんでもらいたいですね。**圭士** 自由に感じるままに聴いていただければ。盛り上がってきたら立ち上がってもOK。名器のダニー君を響ホールにも連れていきます。とても響きがいいホールと伺っているので、ダニー君も本領発揮です。

守也 お客様の反応もとても楽しみです。当日は僕たちも気合いが入りますよ!

圭士 北九州は大好きな場所なので本当に期待しています。一緒に楽しみましょう!

※公演については下記をご覧ください。

今回のツアータイトル「ベスト オブレ・フレール」にちなんで、お二人それぞれの“ベスト”の1曲を挙げてください。

守也 僕にとつてのベストはやっぱり、ライブで毎回やる即興演奏です。

圭士 僕は、レ・フレール結成当初から弾いている二人の合作「Ooh See Boogie (ウーシー・プギ)」が、思い入れの強い曲です。「ウーシー」は兄の飼っていた愛犬の名前。そのウーシーが交通事故に遭って兄が落ち



Moriya Saito

Les Frères

斎藤守也(さいとうもりや)と兄弟圭士(さいとうけいじ)の兄弟によるピアノデュオ。2002年結成。コンポーザー・ピアニストとしてオリジナル楽曲の制作とライブを両軸に活動。独創的な楽曲とピアノプレイスタイル「キャトルマンスタイル」を兄弟二人で確立。ジャンルの隔を越え、あらゆる年齢層を惹き付け、聴く人の魂を揺さぶる熱いオリジナルサウンドで世界各国の聴衆を熱狂の渦に巻き込み「レ・フレール」という唯一無二の音楽ジャンルの形成。2013年3月20日にCD「レ・フレール管弦楽団」をユニバーサルミュージックよりリリース。これは2012年末にNew York Symphonic Ensembleを招聘し行われた共演公演のライブ録音で、コンポーザー・斎藤守也・斎藤圭士としての魅力を堪能できる。ソロプロジェクトとして、圭士氏が2013年8月21日「音楽家たち〜Keito Saito and his friends〜」をユニバーサルミュージックより発表。守也氏が2013年11月6日にソロプロジェクト作品集「旅」をユニバーサルミュージックより発表。また、2013年4月より「ベスト オブレ・フレール」ツアーを展開中。※「キャトルマン」はフランス語で「4本の手」=「連弾」のことを言う。通常2本の手で成し得ない可能性を4本で探りながらきたレ・フレールのプレイスタイルを「キャトルマンスタイル」と名付けた。オフィシャルサイト <http://lesfreres.jp/>

STAGE PREVIEW

子どもたちのための
レクチャーコンサート

響ホール 1/19(日)
15:00 ●

○渡辺玲子(ヴァイオリン)
江口 玲(ピアノ)
●定員600名(先着)
●対象 小学生・中学生・高校生

響ホール20thシリーズ
KIRIN presents Best of Les Frères
～ベスト オブレ・フレール～ in 北九州

響ホール 1/26(日)
15:00 ●

○レ・フレール(斎藤守也・斎藤圭士)(ピアノ)
●おとな¥5000、中学生以下¥3500
※未就学のお子さまも1名につき1枚のチケットが必要です。公演に影響があると判断された場合には注意させていただきます。ご退席をお願いする場合がございます。
※中学生以下チケットでご入場されるお客様は、年齢を確認させていただきます場合もございます。

■お問合せ 財団音楽事業課 TEL.093-562-3611

○チケット完売

高嶋ちさ子コンサート
みんなのための音楽室 ～室内楽編～

響ホール 2/15(日)
15:00 (14:30開場) ●

○高嶋ちさ子(ヴァイオリン)
古川展生(チェロ)、清塚信也(ピアノ)
●¥4500

○チケット完売

■お問合せ 財団音楽事業課 TEL.093-562-3611

REPORT!

二千年の昔に想いを馳せてー
古代の音色でタイムスリップ。

響ホール＆埋蔵文化財センター
音楽アウトリーチ事業レポート

楽器や音楽は、いつ生まれたんだろう。
大昔の人も楽器を演奏し、音楽を楽しんでいたのだろうか…。
ふと、考えたことはありませんか？

今年度の音楽アウトリーチ事業は、響ホールと北九州市立埋蔵文化財センターの共催で
歴史的価値のある出土品に囲まれての異色な音楽会となりました。
古代の音色に触れ、二千年の昔に想いを馳せるひととき…。
まるで日常から古代へタイムスリップしたような、そんな音楽会の様子をレポートします。

音の出る考古学

『古代の音 おんがくかい』
～埋蔵文化財に囲まれて土笛・尺八・箏の演奏会～
8/10(土)北九州市立埋蔵文化財センター

クラシックや伝統芸能に広く気軽に触れていただけるよう、小学校や地域の市民センターなど、身近な場所でアーティストが生演奏をおこなう「音楽アウトリーチ事業」。今夏は、特別企画として響ホールと埋蔵文化財調査室が手を組み、土笛コンサートとミュージアムトークが開催されました。埋蔵文化財調査室は市内各地の発掘調査を手掛けるとともに、今回の会場である埋蔵文化財センターで出土品の展示もおこなっています。

北九州では八幡東区高槻遺跡・小倉南区寺町遺跡などで出土している古代の楽器「土笛」の演奏を聴かせてくれたのは、北九州市民文化賞をはじめ数々の受賞歴がある尺八・土笛演奏家の山崎壑山さん。津軽三味線「吉田兄弟」の尺八を担当されていることでも有名です。また、土笛と同じく古い歴史があり、北九州でも1点だけ木製の一部が出土している琴。時を経て現代の形に発展し、伝統楽器となった箏を奏でてくれたのは、全国箏曲コンクール連続入選、生田流宮城社大師範の宮本直美さん。

会場となったセンターの展示室は、数々の出土品が並ぶガラスケースに囲まれ、歴史の重みと深さを静かに感じさせる雰囲気になっています。その中央に再現された江戸時代の町家が今回のステージとなりました。募集人数を大幅に上回る130人が客席を埋める中、学芸員の佐藤浩司さんによる考古学トークで会話はスタート。太鼓や尺八、銅鑼など古代の楽器について解説があり、中国から二千年前に伝わったという土笛に話が及ぶと、ステージ前に展示された出土品の土笛に視線が集まり、誰もが興味津々。佐藤さんの「人類史上、最初に生み出された楽器が笛だったのでは…?」という言葉に、皆さんの心はすっかり古代へタイムスリップしたようです。佐藤さんがこの日のために練習してきたという土笛の音を少しだけ披露して、演奏者へバトンが渡されました。

音楽会の1曲目は、意外な選曲のアニメ映画主題歌「君をのせて」。尺八と箏のどこか懐かしい、心に沁みる響きに、親子連れの子どもたちも吸い寄せられるように聴き入っていました。続く「荒城の月」では、澄んだ月を思わせる音色が清流のように会場に広がり、外が猛暑の夏であることを忘れさせてくれるひとときに。

中盤には、山崎さんが土笛の話を交つつ愛用の土笛を聴かせてくれました。その音色は土の素材特有のやわらかくまるやかな調で、まるで土笛の音に乗せて想いを語りかけてくるかのよう。何千年の眠りから覚めた歴史のかけらに囲まれ、客席の一人ひとりが古代へと想いを馳せているようでした。

曲の合間に楽しいお喋りも織り交ぜ、「六段の調べ」「夏のうた」と続いた演奏が終わっても拍手は鳴りやまず、ダブルアンコールに応える大好評のうちに音楽会は幕を閉じました。帰りかけには、市民の方が寄贈してくださったという手作りの土笛が希望者に配られ、子どもたちはさささく口に当てて音を出す練習をしながら、満面の笑顔で会場を後にしていました。

アウトラリーチ担当者より

今回は埋蔵文化財センターの協力のもと、北九州市の魅力的な宝である埋蔵文化財を素晴らしい音楽と共にもっと知っていただきたいという想いで、このコンサート企画しました。これからもさまざまな形で、皆さまに音楽をお届けしてまいります。

来場者の声!

○あまり耳にすることのない土笛をこんな文化施設で聴けるなんて息子も私も初体験でワクワク。想像していた素朴な低い音とは違い、高くきれいな澄んだ音で感激しました。

柳鶴 優美さん
康介さん
[小倉北区]

○「音の出る考古学」の題が気に入って来たら「本物の音」と文化財の最高のコラボができたの心に響く土笛の深い音に、以前行った中国の広大な自然が思い浮かび心地良かったです。

一宮 豊彦さん
才藤 田鶴子さん
[門司区]

北九州市立埋蔵文化財センター

1978年(昭和53年)7月、市内の埋蔵文化財の保護と活用をめざして設立。市内各地の住居跡や古墳などを発掘調査し、研究・整理保存作業、資料の管理などをおこなうとともに、歴史的文化的価値の普及活動にも力を入れています。展示室には、発掘調査で見つかった遺跡や遺物について、少しでも早く市民の皆様を知ってもらうための「速報展」コーナーがあり、現地説明会も多数実施。昨年11月には、三十数年間の発掘調査に携わった専門学芸員が北州市内の遺跡を解説した書籍「考古学ノート」も発刊されました。

～響ホール開館20周年記念～

KIRIN presents

Best of Les Frères

ベスト オブ レ・フレール in 北九州

Q
43
vol.
WINTER
2014

ピアノ1台で世界が熱狂！
1台4手連弾の情熱の舞台が
ついに響ホールへ!!

独創的な楽曲と、斬新かつ繊細なプレイスタイル「キャトルマンスタイル」で世界を席巻する兄弟ピアノデュオ「レ・フレール」。

昨年9月で結成10周年を迎え、今年4月からはファンの応募で選ばれた人気楽曲を参考に構成した「ベスト オブ レ・フレール」ツアーに臨んでいます。

2014年1月には、ついに北九州初登場となる斎藤守也さん・斎藤圭土さんのお二人が、レ・フレールならではの魅力あふれる連弾スタイルと音楽について語ってくれました。

取材・文：塩出 桂子

Photo by Hideo Nakajima

Les Frères

Interview & Message

<http://lesfreres.jp/>

インタビュー
&
メッセージ

お二人の音楽・ピアノとの出会いは？

圭土 僕は小さい頃からピアノが好きで、両親に頼んで6歳の時ピアノを始めました。

守也 その1年後、僕も同じ教室へ。それが12歳の時。遅いスタートです(笑)。

圭土 その後、兄も僕も15歳からルクセンブルク国立音楽学校に留学しました。

守也 留学中に連弾の授業を二人で受けたことは覚えています、オリジナルで連弾を追求することになったのは、1台4手でユニットを結成した11年前の9月。最初のライブでお互いソロを弾いた後、アンコールで2～3曲連弾をしたんです。それがお

客様に好評で、僕たちも連弾の魅力にはまった。今では、この二人の相性でしか出来ない演奏がレ・フレールだと思っています。

圭土 血を分けた兄弟だから、何も言わなくても分かる強みはあると思います。でも、もし兄が赤の他人だったら、友だちになったかと言えば…それは分かりません(笑)。小さい頃は兄が憧れの存在でしたね。

守也 僕は小さい頃、5歳下の圭土が可愛くて仕方なかった。だから喧嘩にならないんです、昔から(笑)。今日はなんとなく二人の間の空気が良くないという時はありますが、ライブで音を出せば二人とも楽しくな

れる。それも10年間の結果かもしれません。

作曲・編曲や即興演奏、ブギ・ウギなどレ・フレールならではの音楽について。

圭土 レ・フレールはオリジナル楽曲中心で、作曲・編曲も自分たちで手掛けていますが、二人で半分ずつ作ると決めています。

守也 例えば圭土が6曲、僕が6曲、プラス共作2曲で計14曲、という感じです。

圭土 僕が作曲・編曲をしていく中では、相手のパートまで考える曲と、フリーで即興的な部分を残す曲とさまざま。鍵盤上の手の動きもイメージしながら、「この手のクロ

スは他人とは出来ない」といった兄弟ならではのコンビネーション、レ・フレールだから出来る奏法を取り入れることも。

守也 僕のスタイルは色々で、部屋にこもりピアノに向かって作る時もあれば、散歩中にパッと浮かんでくる時も。自然からインスピレーションを受けることが多いです。

圭土 僕はいろんな出来事に感動したり悲しんだりする中で生まれる曲が多いです。日常の中でイメージや旋律が湧いてきて、そのまま曲にしていけることもありますが、編曲はピアノで完成させます。ただ僕の場合、一度作曲したらもう頭に入っている、楽譜にはほとんど書かないし、

(11p.へ続く)